

※文字の大きさは Meiryo UI /12 ポイント以上とし、行間・文字間、上下左右の余白は変更しないでください。
 ※具体的に示したい図、写真、表、グラフなどは、(写真 1) (表 1) などと文中に記載し、右ページに(写真 1) (表 1) などと表記の上、貼り付けてください。
 ※文章と図等を組み合わせながら作成することも可能です。各項目の枠の上下幅は変更可能です。
 ※いずれの場合も、必ず A 3 片面 1 枚におさまるように作成してください。ファイルサイズは 5 MB 以下としてください。

※事務局記入欄

【様式 2】

No. C-6

部門名： 地域と共にある学校実践部門	エントリー名： 沖縄県立美咲特別支援学校 與那城哲 平成 3 0 年度第 1 回中堅 教員研修
活動名： 作業学習を通じた地域貢献 ～地域共生社会の実現を目指して～	
解決すべき課題： 2 8 年からの取り組んでいる活動に今回の研修で学んだ「インクルージョン社会の実現」 「障がい者理解」、「自己有用感の向上」、「キャリア教育」、「学校と地域の連携・協働」、「地域とともにある学校」を取り入れ、より広がりを持たせ担当者と話し合い以下の目標を立てた。 1 「共生社会」の実現を目指した、地域社会に対する「障がい者理解」の促進 2 生徒自身の「キャリア発達」(コミュニケーション能力・就労感・達成感・問題解決能力) の向上 3 「地域貢献」を通じた生徒自身の「自己有用感」の向上	
目標・方針： 「障害者基本法」、「障害者の権利に関する条約」には障がい者の「基本的人権及び自由」、「共生社会」の重要性、「障がい者の社会参加」「差別解消」「障がい者に対する肯定的認識及びいっそうの社会の啓発を促進」など国及び地方公共団体の責務、国民の責務が細かく規定されている。私たちはこの「共生社会」を実現するために、生徒が将来充実した生活を営み積極的に社会参加を行い、よりよい人生を送るために社会に対し「障がい者理解」を促す取り組みが必要だと考えた。また、この取り組みを通じ生徒一人一人の「キャリア発達」を促すとともに自分は他者から必要とされ役に立っている存在であることを実感することで生徒自身の「自己有用感」を高めたいと考え研修で学んだ事を皆で共有しより深化させこの取り組みを行った。	
活動内容： 1 「八特夏季体験教室」の実施 2 「地域へ感謝！！八特大感謝祭」の実施 3 「地域貢献活動」の実施	

活動の成果：

1 生徒自身が「先生」となり地域の子供達へ技術や知識を教える「夏季体験教室」では、小学生参加者 2 9 名中 1 9 名が「とても良かった」と答え、「良かった」が 6 名、「普通」と答えた生徒が 4 名であった。「とても楽しかった」「次も参加したい」との意見があり、特別支援学校の生徒の教え方はどうですかの問いに 2 0 名の参加者が「とても良かった」、9 名が「良かった」と答えた。「とても楽しかった」「次も参加したい」との意見もあり、特別支援学校の生徒の教え方はどうですかの問いに 2 0 名の参加者が「とても良かった」と答えた。ラーニングピラミッドにおける学習定着率が一番高いのが「他者へ教える」であり、この取り組みを通して生徒の「コミュニケーション能力」「問題解決能力」「指導力」を高めることができた実感している。

2 「地域へ感謝！！八特大感謝祭」と題して石垣市宮良公民館で地域の方を対象とした販売学習を行った。当日は大勢の地域の方々に来場いただき当日のアンケートでも 7 5 名中 4 5 名が「大変良い」と答え、生徒の学習の場を設けるとともに製品の質の向上、地域との交流が行えた取り組みであった。

3 「地域貢献活動」の実施では日頃学習した知識や技術を活かし地域の方々に喜んで頂くことで「自己有用感」の向上や「外部機関との連携及び活用」、地域社会に対する「障がい者理解」を進めることができた。木工班では石垣市森林組合よりリュウキュウマツの間伐材を提供して頂きベンチを制作し石垣市役所への寄贈を行った。年間数万人が訪れる市役所ロビーにて使用されることから、生徒達も喜び「自己有用感」の向上を図ることができた。陶芸班では近隣の幼稚園から依頼があり園児を対象とした「陶芸教室」を行い出来上がった器を用い「お茶会」を行いたいへん盛り上がりを見せた。家庭班では石垣市織物組合の方より地域の伝統工芸である「八重山ミンサー織り」の技術を指導して頂き地域の伝統文化の継承をつとめることができた。

4 以上の学習活動をマスコミを通じ新聞やテレビで報道して頂くことで、地域社会への「障がい者理解」について啓発を行うとともに「共生社会」構築へとつなげることができた。

アピールポイント (アイデアや工夫)：

- 1 近隣の小学校 4 年～ 5 年生を対象とした「夏季体験教室」では、生徒が先生となり、日頃作業学習で学んでいる内容を小学生に教えることで学習の定着を図るとともに、「地域貢献」「自己有用感の向上」「キャリア教育の推進」を実践することができた。
- 2 石垣島という地域性を考慮し地元へ根ざした取り組み「八特大感謝祭」を公民館で行った。
- 3 学校外での活動を通じ、様々な業種の方々と交流を行い伝統文化の継承に努めることができた。
- 4 報道を通じ、地域社会へ「障がい者理解」についての啓発を行うことができた。

「各取り組みの様子」



夏季体験教室

夏季体験教室に参加した小学生の感想

- ・とても楽しかった
- ・優しく教えてくれて嬉しかった。
- ・また参加したい。
- ・もっと交流したいと思った。
- ・いろんな物が作れて良かった。等々



コップ作りの様子(陶芸班)



洗車の様子(クリーン班)



コースター作り(木工班)



石垣市役所への「ベンチの寄贈」



公民館での「八特大感謝祭」



「八重山ミンサー織り」体験実習



陶芸班と園児で作った器でお茶会